



phk (パーソナルコミュニケーション普及協議会)

小山 雄二

KOYAMA YUJI

1957年 柏崎市高柳町出身
1994年 ボランティアパソコン教室開始(高柳)
2001年 「パソコン教室」を本格的に立ち上げる

30年ほど前から市内荒浜、高柳などでパソコン教室を開催し、初歩からベテランの方まで幅広く教えている小山雄二さん。現在は新潟市と柏崎を拠点に、簿記やパソコン、大学受験指導など、幅広く講師として仕事をしている。

小山さんは早稲田大学政経学部卒。大学入学当初はひたすら学業と家庭教師のアルバイトの日々だった。日本の会計学者 新井清光さんの講義を受け、昔からある簿記のシステムティックな仕組みに興味を持ち、授業が終わった後の夜間に専門学校へ通い簿記を学んだという。卒業後は東京で情報処理会社に10年勤務した後、柏崎へUターン。当時の柏崎情報開発学院で10年間講師を務めた。その後、森元首相が掲げた「IT(情報技術革命の推進)5か年計画」をきっかけに独立。小山さんは、phk(パーソナルコミュニケーション普及協議会)を立ち上げてパソコン教室等を始めた。

現在の「あらはま教室」はワードやエクセルを学んだり、インターネットやブログの講習、ウィルスのトラブル対応など、一人ひとりのさまざまなニーズに対応して個々の質問に応えたり、教えたりすると

いう自由な内容の教室。ここで学び始めたシニアの方たちは、さらにワンランクアップしてフォトショップのソフトを使いアルバムを作成したり、自分の人生を振り返って、趣味の作品をまとめた本づくりをしたりするようにもなり、制作した本の展示会を新潟市で開催したこともあるという。

また現在、新潟市のハローワーク経由の職業訓練の場で、小山さんは簿記講師として13年目のキャリアを持つ。一昨年頃から簿記検定がオンラインで受験できるようになり、それに合わせてスマートフォン等を使った配信でも簿記授業が受講できるようにシステムを整えた。練習問題をペーパーレス化、正解・不正解の判定も瞬時に色分けで確認できるプログラムを作成しIT化するなど、小山さんならではの授業で多くの検定合格者を出している。

「PCだけでなくスマートフォンやタブレットなど、さまざまな形状のIT機器を使い、メールやLINE等のSNSなど、インターネットを活用した情報共有、情報技術を使うと年齢に関係なく楽しめますよ」と話す小山さん。この時期は年賀状作りが人気。「年賀状はワードでも筆まめでも簡単に作る事ができます。ここがわからない、ここでつかえちゃった、というのを相談してもらってもいいし、メールやLINEで年賀状のようなメッセージを送る方法等も学べますし、いろいろできますよ」と心強い。パソコンやスマートフォンなどの悩み解決に、気軽に教室を利用してみるのはいかがだろう。



シニアの受講生が制作した本▲

お問い合わせ phk

柏崎市荒浜4-2-2(海側)

☒ phk@mbc.nifty.com

* 定例PC教室 第2・4・5日曜(9:30~12:00)
(参加費当面1,000円)



ホーム
ページ
に
移動